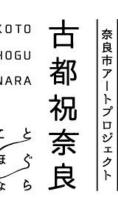


古都祝奈良2022-2023 開催報告



令和4年度事業概要

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良(ことほぐなら) 2022-2023」

期間 令和4年7月30日(土)~令和5年2月18日(土)

会場 奈良市役所東棟屋上、奈良市音声館、奈良市ならまちセンター、なら100年会館

主催 奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

協力 各プログラムの協力団体・個人は各プログラム報告において記載

広報:一般社団法人はなまる

ロゴ・デザイン:butter 久保元気

ウェブデザイン:植本沙也可

助成 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

令和4年度事業一覧

クリエイション・プログラム(メインプログラム)

コロガル公園プロジェクト【新規】

ラーニング・プログラム

- グリーン・マウンテン・カレッジ
- 青少年対象演劇ワークショップ
- アートとまちづくりカンファレンス

各事業報告①

コロガル公園テラス

期間

令和4年10月15日(土)~令和4年11月27日(日)

<u>会場</u>

奈良市役所東棟屋上

主催

奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

<u>作家</u>

会田大也(山口情報芸術センター [YCAM])

<u>プログラムディレクション(監修・運営)</u>

一般社団法人CHISOU

<u>協力</u>

山口情報芸術センター「YCAM」、梅乃宿酒造株式会社

<u>助成</u>

令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



コロガル公園テラス 記録写真













コロガル公園テラス 実績について

実施実績

会期: 令和4年10月15日-11月27日 10:00-17:00 (最終入場16:30)

月・火・水曜は閉場 (ただし11月23日(水・祝)は開場)

開催日数:27日間

(うち13日(日)全日、20日(日)午前、23日(水・祝)は雨天により休場)

来場者数

総来場者数:9,690人(想定4000人)

1日平均:359人 土日祝平均:475人 平日平均:190人

*人数は、同意書への記名人数。(入替時は、入場のたびに記入している)

*見学者、スタッフ、関係者等は含まない。

「来場者の声〕

- ・ 大きい遊具がいくつもあるのに全体がスッキリとしていて木の風合いも気持ち良く、大人も子供と一緒に遊んでリフレッシュできた。
- ・ 期間限定でなく、常設や定期開催などにしてほしい。
- 素敵なイベントで、奈良=ダサいイメージではなくなってきた。
- 木の遊具で、公園にはない楽しみ方ができるのが良かった。シンプルがゆえに遊び方がいろいろ、年齢を束縛されないのもいい。
- ・ 初めて会った他の小学校の子とも仲良くなり、一緒に楽しく遊んでいました。木の遊具もとてもいい
- · 走り回って安全にのびのび遊べるこのような場所があれば、子ども達の体力増強、基礎運動能力向上にもなる。

コロガル公園テラス 実績について

来場者分析(アンケートから)

*アンケートはウェブ回答。60件程度回答あり。

- 住所地
 - 奈良市内90.5%、奈良市外(県内)4.8%、奈良県外4.8%(ほぼ京都府南部)
- 来場者年代層
 - 未就学児31.1% 小学生9.8% 10代(中学生以上)0.6% 20代2.4% 30代26.2% 40代23.2% 50代3.0% 60代3.0% 70代0.6%
 - ▶ 宿泊の有無は、「無し」が100%で、ほぼ市内と周辺地域からの参加。
 - ▶ 小学生をメインターゲットとしていたが、未就学児の来場が多かった。 (考えられる理由)
 - 1 広報的に情報を未就学児の方が届けやすかった(「子育て@なら」や子育て世代向けウェブサイトなど、未就学児向けの媒体が多く、リアクションもいい)
 - 2 遊具自体も過去の「コロガル公園」に比べて、危険度が低く、未就学児でも十分に楽しめるものであった。また、人工芝があり、遊具で遊べない乳児にとっても居心地がいい空間であった。
- 来場者評価(5段階)
 - 大変良かった 50.8% 良かった 46.0% どちらともいえない 3.2% 低評価(「あまり良くなかった」「良くなかった」) は回答なし
- 来場のきっかけ(上位4つ) しみんだより23.4%、口コミ23.4%、SNS(奈良市LINE含む) 16.0%、チラシ 14.9%

各事業報告②

グリーン・マウンテン・カレッジ

<u>期間</u>

令和4年11月12日(土)、26日(土)、12月3日(土)

会場

奈良市ならまちセンター芝生広場

主催

奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

<u>校長</u>

小山田徹 (美術家/京都市立芸術大学美術学部教授)

<u>協力</u>

奈良若者サポートステーション、一般財団法人奈良市総合財団 **助成**

令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



グリーン・マウンテン・カレッジ 各回報告

日程	ゲスト	テーマ	参加者数
11月12日(土) 18時-20時	伊達伸明 美術家/京都芸術大学教授	複眼	45人 ボランティア:5人
11月26日(土) 18時-20時	会田大也 ミュージアムエデュケーター/ 山口情報芸術センター [YCAM] アーティス ト・ディレクター	裸眼	39人 ボランティア:4人
12月3日(土) 18時-20時	藤原辰史 歴史学者/京都大学人文科学研究所准教授	心眼	57人 ボランティア:4人

*ボランティア協力:奈良若者サポートステーション

グリーン・マウンテン・カレッジ 記録写真







各事業報告③

青少年と創る演劇Lite

期間

前期:令和4年7月30日(土)~8月6日(土)全4回

後期:令和4年10月29日(土)~12月17日(土)全8回

<u>会場</u>

奈良市音声館、奈良市ならまちセンター、なら100年会館

主催

奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市 プログラムデザイン 田上豊 (劇作家・演出家) コーディネーター (前期) 向井徹 (アートコーディネーター)

<u>協力</u>

小野小町 (脚本提供)

<u>助成</u>

令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



青少年と創る演劇Lite(前期) 演劇入門~4つのオムニバスワークショップ

日程	タイトル	講師	参加者数
7月30日(土) 13時半~16時半	ワークショップ① アツマル - 演劇ゲームで仲良くなろう -	新居達也(演出家・劇作家)	11人
7月31日(日) 13時半~16時半	ワークショップ② ウゴカス - 自分の身体をつかった表現にチャレンジ-	井上大輔(演出家)	11人
8月6日(土) 9時~12時	ワークショップ③ エンジル -演出家の教える「演じる」を体験しよう-	田上豊(劇作家・演出家)	13人
8月6日(土) 13時半~16時半	ワークショップ④ タチマワル - 殺陣を体験、相手の呼吸を感じよう-	福田健二 (俳優・殺陣師)	13人

青少年と創る演劇Lite(前期) 記録写真









青少年と創る演劇Lite(後期) 作品創作~プロとつくるミニ演劇~

日程	講師	内容	参加者数
10月29日 (土)	- 田上豊 (劇作家・演出家)	ワークショップ(創作稽古)	15人(延参加105人) 成果発表会観覧 66人
10月30日 (日)			
11月13日 (日)			
11月26日 (土)			
12月10日 (土)			
12月15日 (木)			
12月16日 (金)		前日リハーサル	
12月17日 (土)		成果発表会(ミニ公演)	

発表作品 朗読劇『おにはうちものがたり』 作・小野小町(劇作家・演出家)

青少年と創る演劇Lite(後期) 記録写真













各事業報告④

アートとまちづくりカンファレンス

グリーン・マウンテン・カレッジ特別編

開催日時

令和5年2月18日(土)17時~19時

会場参加:アート関係者 オンライン参加:一般

<u>会場</u>

奈良市ならまちセンター カフェいにしえ

主催

奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

ゲスト

藤浩志(美術家)

小山田徹 (美術家)

関連企画

さんぽ(ならまちをアーティスト2人と散策)

助成

令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

参加者数

会場 23人 オンライン 15人 / さんぽ 13人





令和4年度事業 成果と課題

成果

- コロガル公園テラスでは、市役所の活用されていないスペースの利活用を通じて、期間限定であるが遊び場の創出を行うことができた。
- コロガル公園テラスではプレイリーダーが、青少年と創る演劇Liteでは地域の演劇人が、企画に関与することによって、市民とともにつくりあげるアートプロジェクトとして展開することができた。
- アートとまちづくりカンファレンスでは、文化施設のあり方や発信拠点としての機能について検討することができ、今後の事業方針や、市の文化施策の方向性を示すものとなった。

課題

- コロガル公園テラスにおいてはプレイリーダーの活躍が大きかったが、会期終了後に継続して アートプロジェクトに関与できる年度内の企画等がなかった。
- 青少年と創る演劇Liteでは、例年よりも規模縮小を行ったためか、参加人数が少なくなってしまった。出演以外に関与できる場面をつくるなどの工夫が必要。